

9/3

長寿、百寿を祝して

敬老祝い記念品の贈呈



實はな様



中津川乃武様



車田ミヨ子様



鈴木ミサオ様



磯美枝様

今年度100歳以上の敬老祝金対象者のうち、5名の方を市長が訪問し、お祝いしました。市からの敬老祝金や記念品のほか、画家の益子学司氏(実取)から寄贈いただいた肖像画や、増村園芸の増村英樹氏(南金丸)から寄贈いただいたケイトウの鉢植えなどを贈呈しました。

9/12

未来の子どもたちのために

那須りんどうの会寄附受け入れ



NPO 法人明るい社会づくり運動の団体賛助会員である那須りんどうの会より 20 万円の寄附がありました。この寄附金は「信頼と思いやりで結ばれ、安心して心豊かに暮らせる社会をつくる」ことを目的としている那須りんどうの会が廃品回収で得た収益の一部で、未来の子どもたちのためにいただきました。

本市への寄附は令和 3 年 12 月の寄附に続き 2 回目となります。いただいた寄附金は子育て支援基金に積み立て、市が行うさまざまな子育て支援事業の財源として役立てられます。

9/14

未来に誇れる「とちぎ」を目指して

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 大田原



県民の声を県政に反映させることを目的に栃木県が開催している「知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 大田原」が大田原市役所で開催され、栃木県北地域の 10 代から 80 代までの約 40 名の県民が参加しました。

知事から県政の話題事項について説明が行われ、大田原で活動している地域団体の活動報告ののち、「子育て・福祉」や「とちぎブランド・観光・地域振興」などについて、活発な意見交換が行われました。

9/21

交通事故ゼロを目指して

秋の交通安全県民総ぐるみ運動出陣式



9月21日から30日までの10日間、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されました。

初日の出陣式では、早朝から交通安全関係者が大田原警察署に集まり、取締り警戒に出動する警察官への激励を行いました。

栃木県の交通安全スローガン「マナーアップ！あなたが主役です」のもと、東武百貨店や道の駅などで、交通安全広報活動を行い、運動期間中は市内での死亡事故の発生はありませんでした。

これからも、安全運転をよろしくお願いします。

9/25

異国での学びを報告しました

大田原市中学生交流事業帰国報告会



8月5日から14日までの10日間の日程で、市内の中学生を本市の姉妹都市であるウエストコビナ市へ派遣する「令和6年度中学生交流事業」を実施しました。

この事業は、アメリカ合衆国の歴史・文化・生活習慣などさまざまな体験を通して、多文化共生の意識づけと国際感覚を育むことで、国際性豊かな人材の育成を図ることを目的としています。

派遣された8名の生徒たちは、現地で体験したことや感じたことなどを市長や教育長、各中学校長に報告しました。

9/28

健康長寿はフレイル予防から

大田原市健康セミナー開催



市健康長寿都市推進委員会と国際医療福祉大学の共催事業として、大学を会場に、健康セミナーを開催しました。大学の地域公開講座を兼ねており、理学療法、視機能療法、言語聴覚、作業療法の各分野から4名の先生方に、健康と要介護の間の虚弱な状態である「フレイル」の予防についてご講演をいただきました。

また、講演前には大学各学科および市食生活改善推進員協議会がブースを設置し、健康相談や食生活改善のPRなどを行いました。

10/4

グラウンドゴルフで世代間交流

市野沢小学校・羽田小学校交流事業



グラウンドゴルフ協会金田支部の皆さまの協力のもと、グラウンドゴルフ体験会が金田北地区公民館で開催されました。

この日は、市野沢小学校と羽田小学校の5年生が参加し、それぞれのグループに分かれてルールや打ち方を教わりながら体験しました。

この取り組みは、世代間交流をとおして、学校や地域社会との連携を図り、地域において世代を超えた繋がりや相互理解を深めることを目的として行われています。

9/29

自然災害に備えて

大田原市防災訓練の実施

黒羽補修基地



大田原市消防団(水防団)による土のう作成・積み上げ訓練

須佐木中組公民館



須佐木中組自主防災会による自主防災倉庫点検訓練

川上健康増進センター



川上地域自主防災会による段ボールパーテーション組み立て訓練

地震や台風、大雨による河川の氾濫など自然災害によって多くの尊い命が失われています。

市はこのような状況を踏まえ、市民と協働し、災害対策基本法に基づいた防災訓練を例年実施しています。今年度は須賀川地区を対象とし、当日は防災無線やよいちメールで情報発信を行い、消防団の協力のもと水害時の土のう作成・積み上げの訓練を行いました。また、自主防災組織の協力により、避難訓練や避難所の設営訓練、防災倉庫の点検などを実施しました。

ご協力ありがとうございました。

10/5

目指せ、新コース最初の優勝！

第66回大田原市内駅伝大会



美原公園内特設コースを会場に市内駅伝大会を開催しました。

当日はあいにくの雨模様の中、中学生から大人まで幅広い世代の方が、刷新された大田原市内駅伝大会コースを駆け抜け、仲間とタスキをつなぎました。

優勝チームは以下のとおりです。

- 中学男子の部 大田原中学校
- 中学女子の部 大田原中学校
- 一般男子の部 岩城農場陸上部
- 一般女子の部 岩城農場陸上部

10/6

おおたわらの歴史を学ぶ

市制施行70周年記念展開催中



大田原市制施行70周年を記念した展示会「おおたわらの歴史—原始から未来へ—」を那須与一伝承館で開催しています。縄文時代から平成の大合併までのさまざまな資料が一堂に会しており、原始から現代までの大田原市の歴史を一覧することができる大変貴重な機会です。

展示会は、12月8日まで開催し、市制施行70周年を迎える12月1日には、無料開館も予定しています。

この機会に、ぜひ大田原市の歴史にふれてみてください。

『昭和の忘れ物』

投稿者：須藤 光男 撮影場所：中央2丁目



家の近所を散歩中に見つけたダルマポンプ、墓地の片隅に残されていました。近所に住む方に話を聞くと、今でも水が出るのではないかとのことでした。懐かしさのあまり、撮影してみました。

『実りの秋～田園風景～』

投稿者：ガーベラ 撮影場所：中野内



この写真は義実家の田んぼの風景です。今では見かけなくなってしまった、はぜ掛け。コンバインではなく昔ながらにバインダー(稲刈り機)で稲を刈り、北風が吹くまで自然に乾燥させハーベスター(脱穀機)で脱穀してやっと新米を頂くことが出来ます。私の子ども達も種まきからお手伝いに行きお米が出来るまでの大変さを味わい、自然乾燥によって甘味を増した美味しいお米で大きくなりました。



市史編さんだより vol.49

自然部会調査速報⑮
～大田原の多様な自然～

2024年のオリンピックとパラリンピックは、フランスのパリで開催されました。9月8日放送のNHKテレビ「ダーウィンが来た！」では「パリはステキな鳥天国」ということで、歴史的建造物を利用して花の都に生きるハヤブサやチョウゲンボウが取り上げられていました。

猛禽類が市街地で見られることは意外に思われる方も多いと思いますが、ここ大田原でもオオタカ、ハヤブサ、チョウゲンボウといった猛禽類を、中央1丁目や山の手1丁目といった街中で記録できました。

大田原市には湧水地、沼沢地、河川、山地、丘陵地、平地があり、それぞれの環境に応じて生物が分布しています。株式会社シンク・ネイチャー「日本の生物多様性地図化プロジェクト」(<https://biodiversity-map.thinknature-japan.com/index.html>)によると、大田原市の植物の種数は八溝山地と那珂川、箒川沿いが多いとされています(図1)。鳥類に関しても、調査地ごとに2時間の調査で見られた種数は、①箒川沿い13、②中央1丁目付近7、③南金丸10、④雲巖寺周辺16で、同様の結果でした(図2)。しかし、種数が少ない地区でも、前述の市街地における猛禽類以外に、南金丸では全国的に繁殖地が限られているケリが記録されるなど、大田原市には地区ごとに貴重な鳥類が生息していることがわかりました。

『大田原市史資料集第2集 大田原市の自然』にあるように、本市では日本有数の湧水地や多様な動植物を見ることができます。これからも、大田原の豊かな自然が守られていくことを願います。

(自然部会 刑部 節)

文化振興課 A別館2階 TEL 0287-47-5031

